

---

2013年3月期第2四半期決算説明会資料  
～中期経営計画「IK2013」の進捗について～

---

---

2012年11月29日

稲畑産業株式会社

代表取締役社長

稲畑 勝太郎

# 「IK2013」2年目の進捗状況(定量面)



(億円)	2013年3月期第2四半期				
	12/9期実績 (A)	通期見通し (B)	進捗率 (A/B)%	「IK2013」 2年目 目標(C)	進捗率 (C/B)%
売上高	2,353	5,000	47.1%	5,200	45.3%
売上総利益	163	330	49.4%	340	48.0%
営業利益	37	80	46.3%	90	41.1%
経常利益	43	90	48.8%	90	48.8%
当期純利益	31	54	58.6%	54	58.6%
ネットD/Eレシオ	0.66	0.75	—	0.72	—
自己資本比率	31.5%	30.3%	—	29.1%	—
為替レート(米ドル)	79.31	80.00円	—	81.49円	—

(注)「IK2013」2年目 目標は2011年5月策定。

## 営業利益100億円の達成をめざす

### 中期経営計画目標(2014年3月期)

連結売上高	: 5,500億円
連結営業利益	: 100億円
ROE	: 7.4%
ネットD/Eレシオ	: 0.72倍以下(注)
自己資本比率	: 29.1%
想定為替レート	: 1USD=81.49円

(注) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

# 「IK2013」の重点施策



1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入
2. 新興国市場への取り組みの拡大
3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化
4. グローバル人材育成のスピードアップ
5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

## 1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入

強みであるアジア事業を徹底的に強化



### 樹脂コンパウンド事業の拡充

コンパウンド統括室を中心にアジア7拠点で連携強化

- 最適な地域・規模での生産体制の確立
- 設備・原料の平準化、一括購入によるコスト削減



(SIKベトナム)

### ベトナムで生産能力を増強

22,800トン → 25,200トン (2012年3月末比+10.5%)



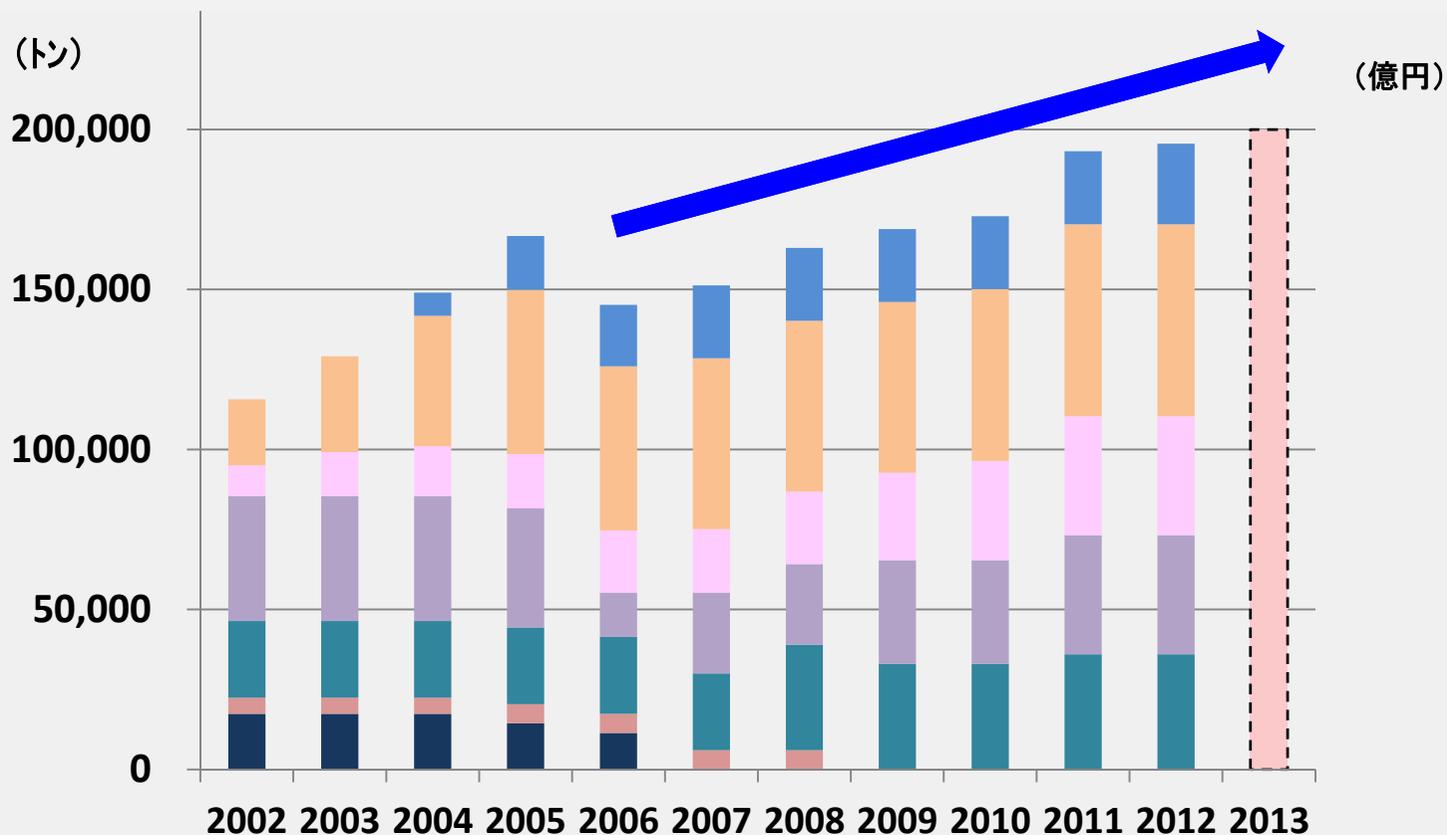
インドネシア・タイで能力増強を計画(2012年末～2013年初め)

## アジア地域における樹脂コンパウンドの生産能力と販売金額

顧客のニーズに合わせて、生産拠点をスクラップアンドビルド  
アジア市場の拡大と共に生産能力を増強

195,600トン(2012年9月末現在)⇒ 200,000トン超へ

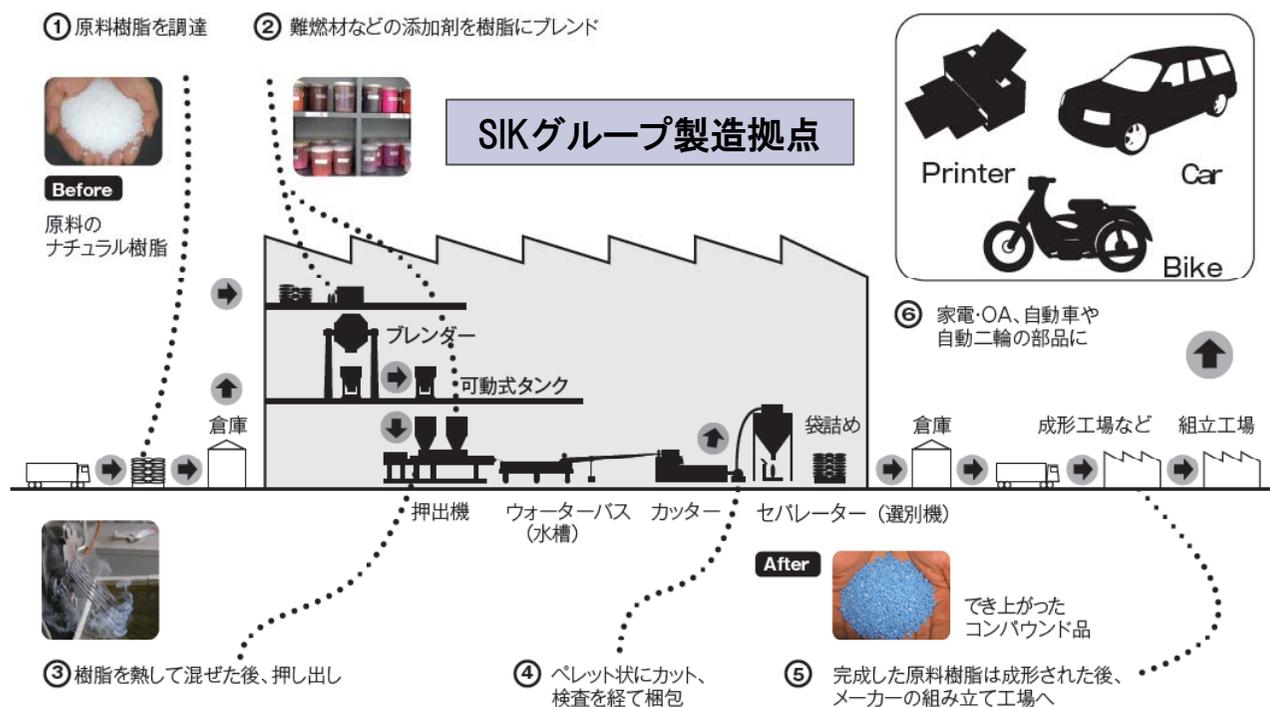
■ シンガポール ■ フィリピン ■ タイ ■ マレーシア ■ インドネシア ■ 中国 ■ ベトナム



# 樹脂コンパウンド事業を展開するメリットと流れ

- 部材の計画段階から関与することにより、深いマーケット情報をいち早く入手できる
- 商社ならではの機能と小回りを生かし、顧客の利便性を重視
- 他社との差別化を図ることで、商社部門でのビジネス拡大につなげる

樹脂コンパウンドの流れ



2. 新興国市場への取り組みの拡大

インド・ブラジルと共に、**メキシコ**に注力

日系自動車メーカーのメキシコでの生産規模拡大  
(*NISSAN, HONDA, MAZDA*)

自動車部材メーカーのメキシコ進出加速



**合成樹脂を中心にビジネス拡大の大きなチャンス**



# メキシコでのビジネス取り組みの状況

日系自動車メーカーの新工場の量産化が始まる2014年に向け

- 2012年8月 メキシコ中部ケレタロ市に商社現地法人を設立
- 2012年11月 中部地区シラオ郊外に樹脂コンパウンド製造工場を設立し、2013年末からの現地生産を目指す

日系自動車メーカー

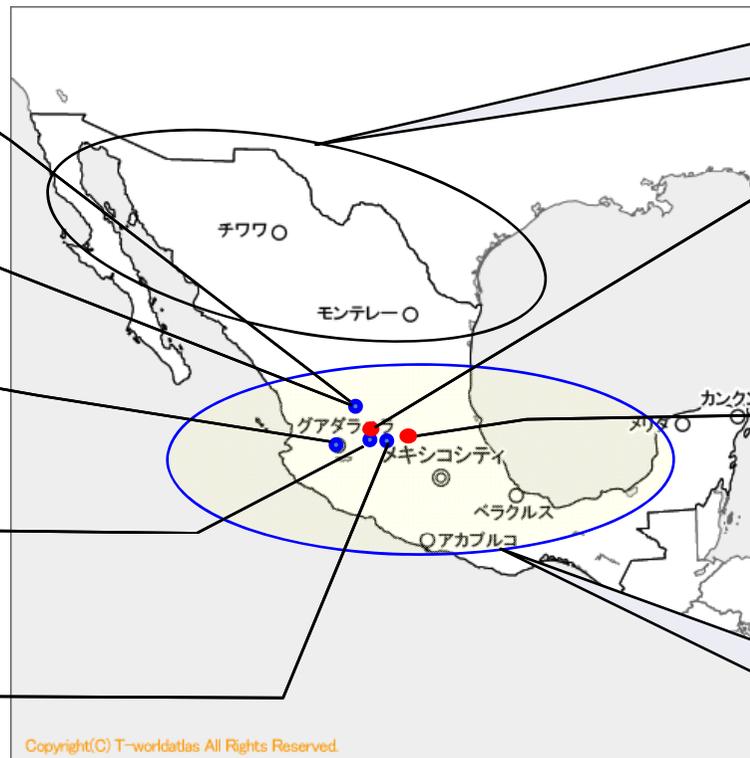
Nissan  
アグアスカリエンテス

Nissan(New)  
アグアスカリエンテス

Honda  
グアダラハラ

Mazda(New)  
サラマンカ

Honda(New)  
セラヤ



既存部品メーカー立地

IK プラスチック コンパウンド  
メキシコ（製造拠点）  
シラオ郊外

稲畑メキシコ  
（商社）  
ケレタロ

新規投資は中部に集中

# 中国・インドに対する取り組み①

中国

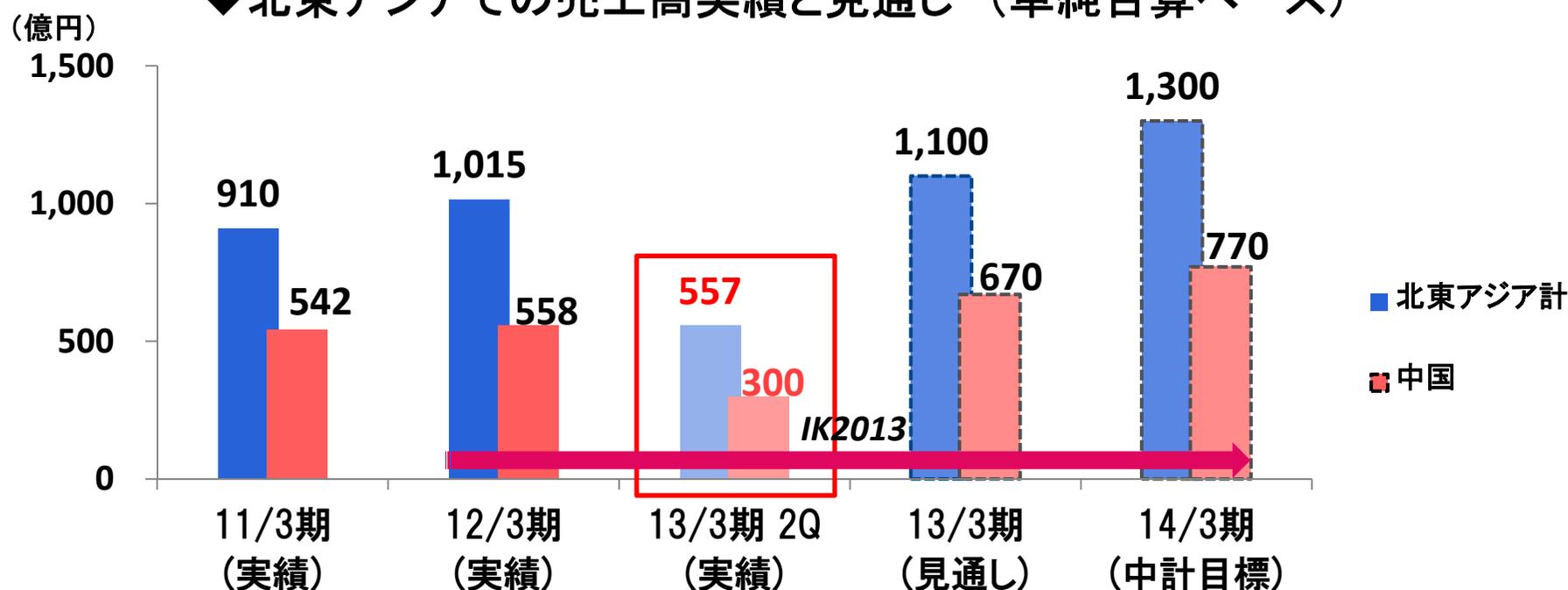


2013年3月期 第2四半期 売上高実績値

北東アジア 557億円

うち 中国 300億円 (単純合算ベース)

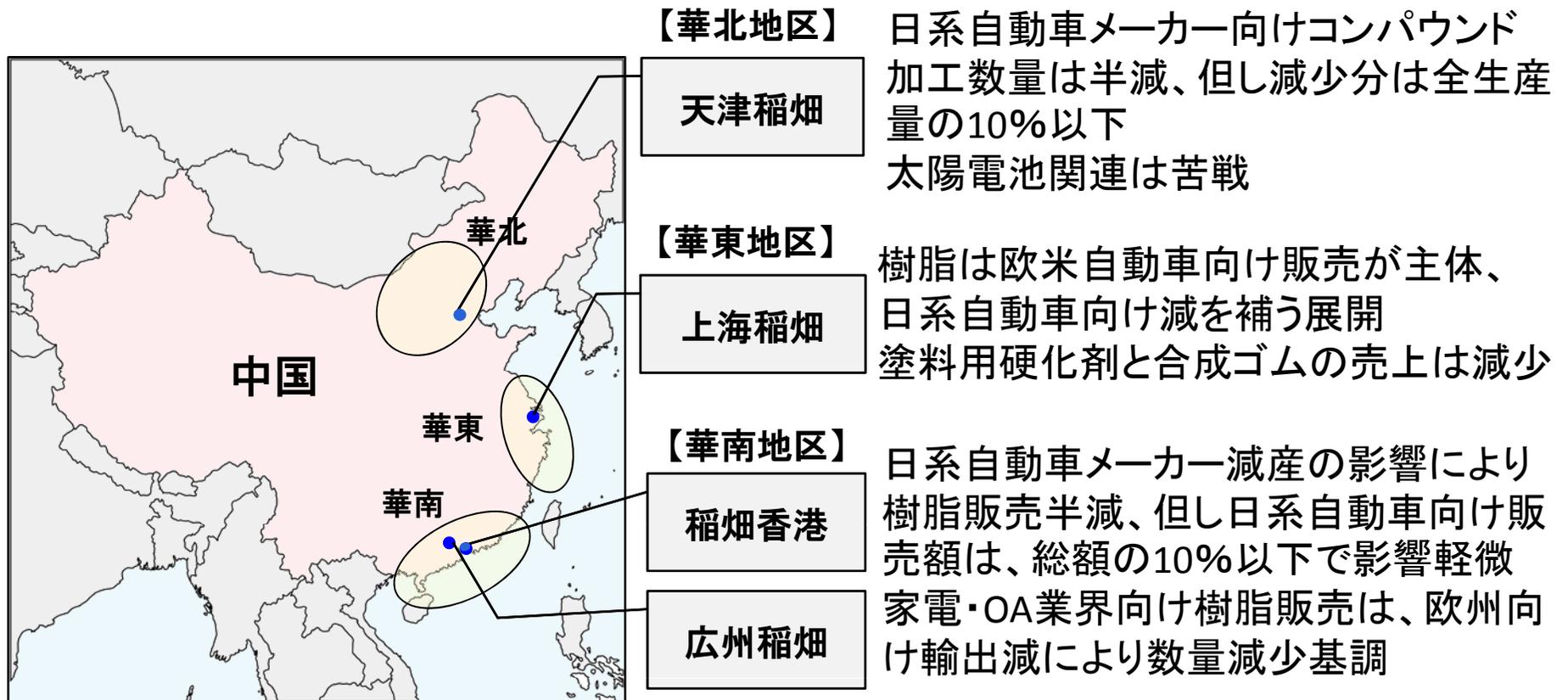
◆北東アジアでの売上高実績と見通し (単純合算ベース)



(注)北東アジアは、中国、台湾、韓国。

# 中国でのビジネスの状況

9月末時点では、日本製品不買運動等の影響は当社には、まだ出ていない。10月以降は、日系自動車メーカーの減産等の当社への影響は限定的だが、全体的には減速感が強まる



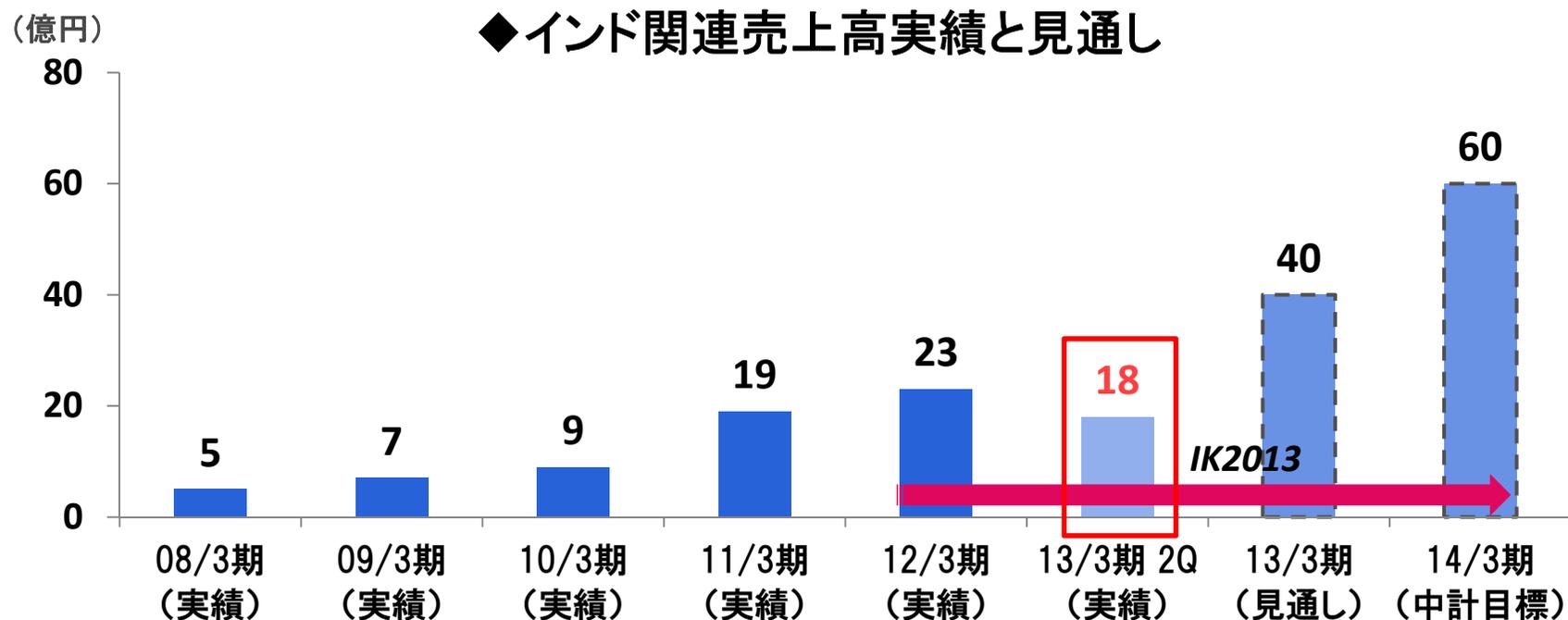
# 中国・インドに対する取り組み②

インド

重要市場のひとつとして、事業拡大に向けた取り組みを加速



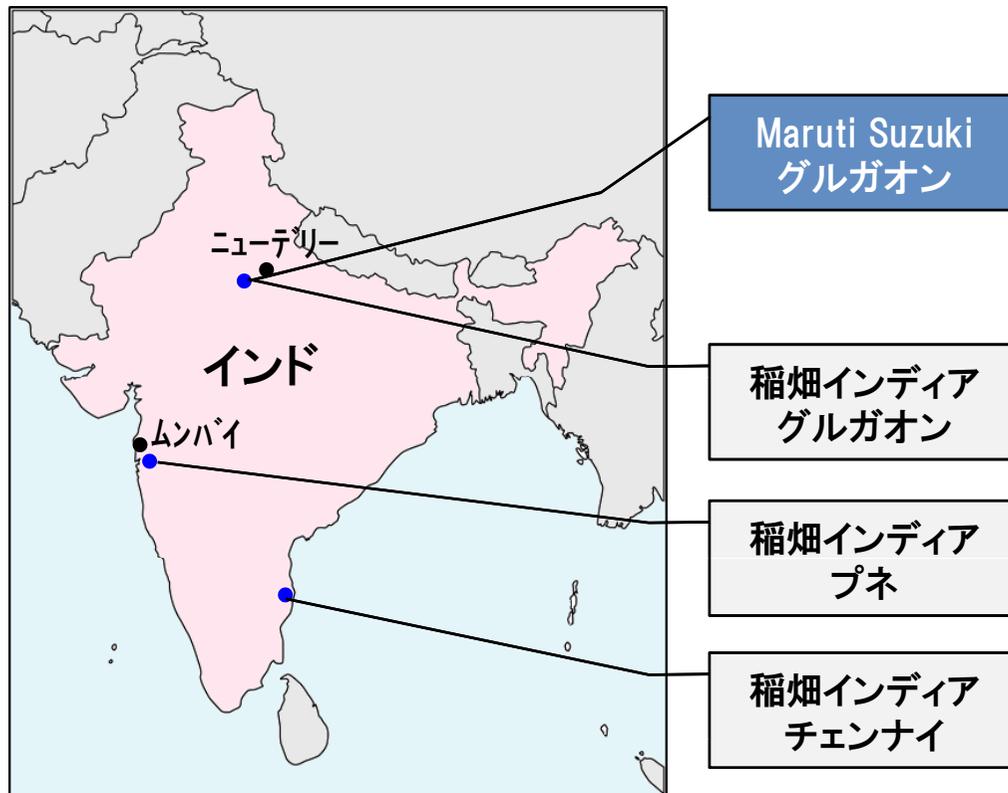
2013年3月第2四半期売上高  
実績値 18億円



(注) インド現地法人の取引はコミッションベースが主体のため、マージン率よりみなし売上高を算出。

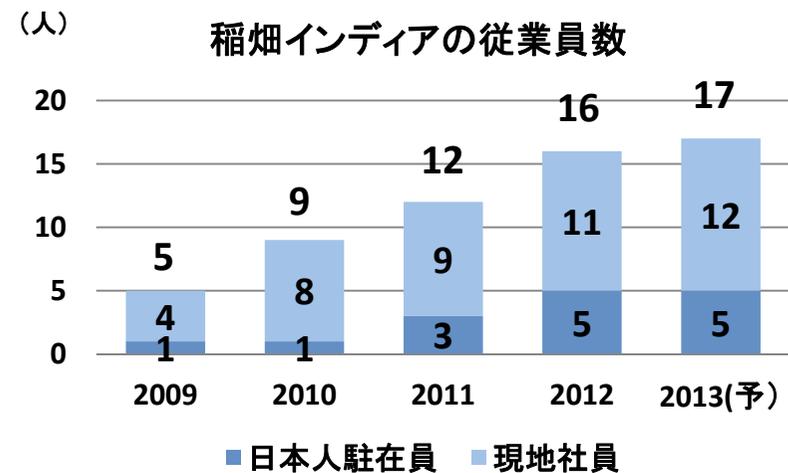
# インドでのビジネスの状況

インドの経済減速感がでていますが、樹脂関連ビジネスは、市場におけるシェアが高くないことから売上への影響は限定的  
自動車関連では、暴動の影響で一時、在庫が増加したものの、10月以降は生産が回復、当社の在庫販売も適正水準に戻る



## 注力ビジネス

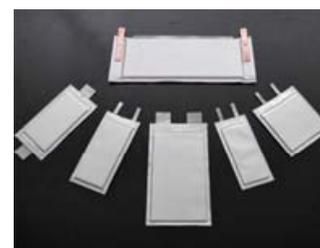
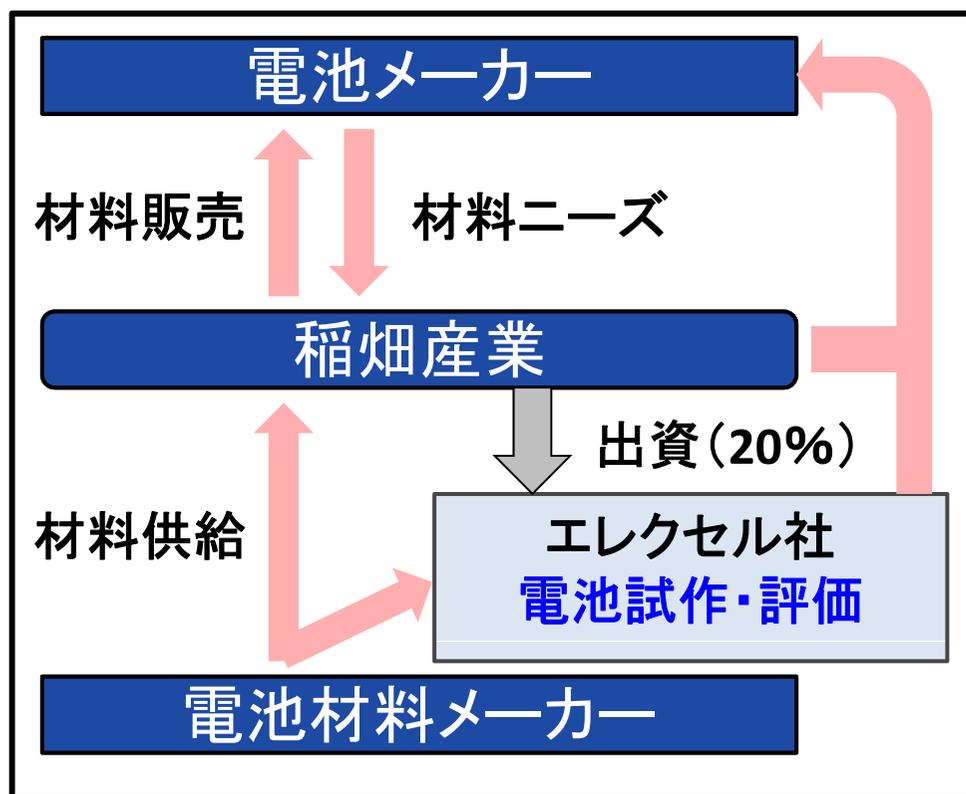
- 樹脂輸入ビジネスの拡大
- PET樹脂などの輸出の拡大
- ジェネリック医薬品の委託製造
- コンパウンド生産拠点の検討



## 3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

### 二次電池(LIB)関連ビジネスの展開

エクセル社による電池試作/評価事業を武器に  
国内外で電池材料販売を展開



セパレータ、正極材料、負極材料、電解液・電解質、バインダー等

韓国電池メーカー向けに実績化  
電池システムの販売も視野に

## 電池関連ビジネスのマーケットと売上高

### 太陽電池マーケット

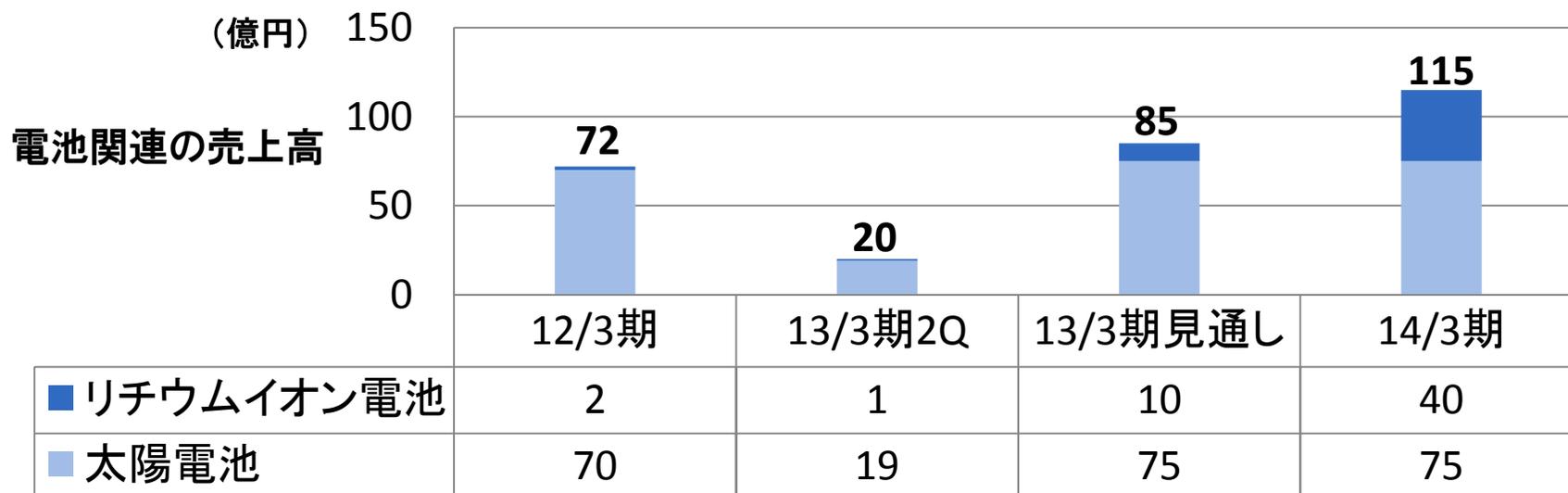
供給過多、価格下落により市場規模は落ち込んでいる

再生エネルギーの潜在需要から、中長期的には市場規模も回復に向かうと思われるが、ここ1~2年は低迷を予想

### リチウムイオン電池マーケット

EV車の普及は予測よりかなり鈍化

今後、バックアップ電源用蓄電池の需要増が見込まれ、直近のターゲットとなる低価格化が普及のカギ(大型200万円から普及型20万円へ)



(注)リチウムイオン電池は、単体の数値。太陽電池はワールドワイドの数値。

# 横断プロジェクトによる取り組み

「IK2013」をサポートする目的で、重点開発テーマを設定し、若手中心の社内横断型プロジェクトを展開。組織を超えた横展開を図ることで、情報の全社共有、社内資源の有効活用を進める

## 重点開発テーマ

「電池」、「省エネ・環境(LED)」、「自動車」



# 「IK2013」の進捗状況(重点施策)



## 4. グローバル人材育成のスピードアップ

- 日本からの海外赴任者を3年以内に100名とする
- 海外商社部門の増員  
3年以内(2014年3月期)に最低600名、5年を目途に700名に

	2012年9月末	2012年3月末	増減
海外赴任者人数	82名	78名	+4名
海外商社部門人数	556名	533名	+23名



[稲畑上海のスタッフ]

## 5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

### ●3年間の投資枠を90億円に設定

2013年3月期第2四半期までの投資実施状況

2011年からの累計 37億円

累計実績内訳：

合成樹脂21.3億円、生活産業3.5億円、情報電子1.9億円 他

2013年3月期第2四半期の主な投資実績：

コンパウンド事業 資本・設備投資（インドネシア・ベトナム等 計2.0億円）

フランス医薬中間体事業 設備投資（0.8億円）

#### □ 「IK2013」投資計画 90億円（新規 3年間合計）

既投資案件 : 継続的見直しによる選択と集中

新規投資案件 : 成長の期待できる事業分野と地域に重点的に配分

重点事業分野 : 「情報電子」、「合成樹脂」、「化学品」の3事業分野

重点地域 : 中国、インドを含むアジア地域、中南米

## □ 配当方針：

連結当期純利益の20～30%を配当の目安  
1株当たり最低限年間10円の安定配当に努める

## □ 自己株式の取得： ⇒ 今後とも継続的に実施予定

資本効率の向上を通じて、  
株主還元、株主価値の向上を図る

### (2013年3月期第2四半期の実施内容)

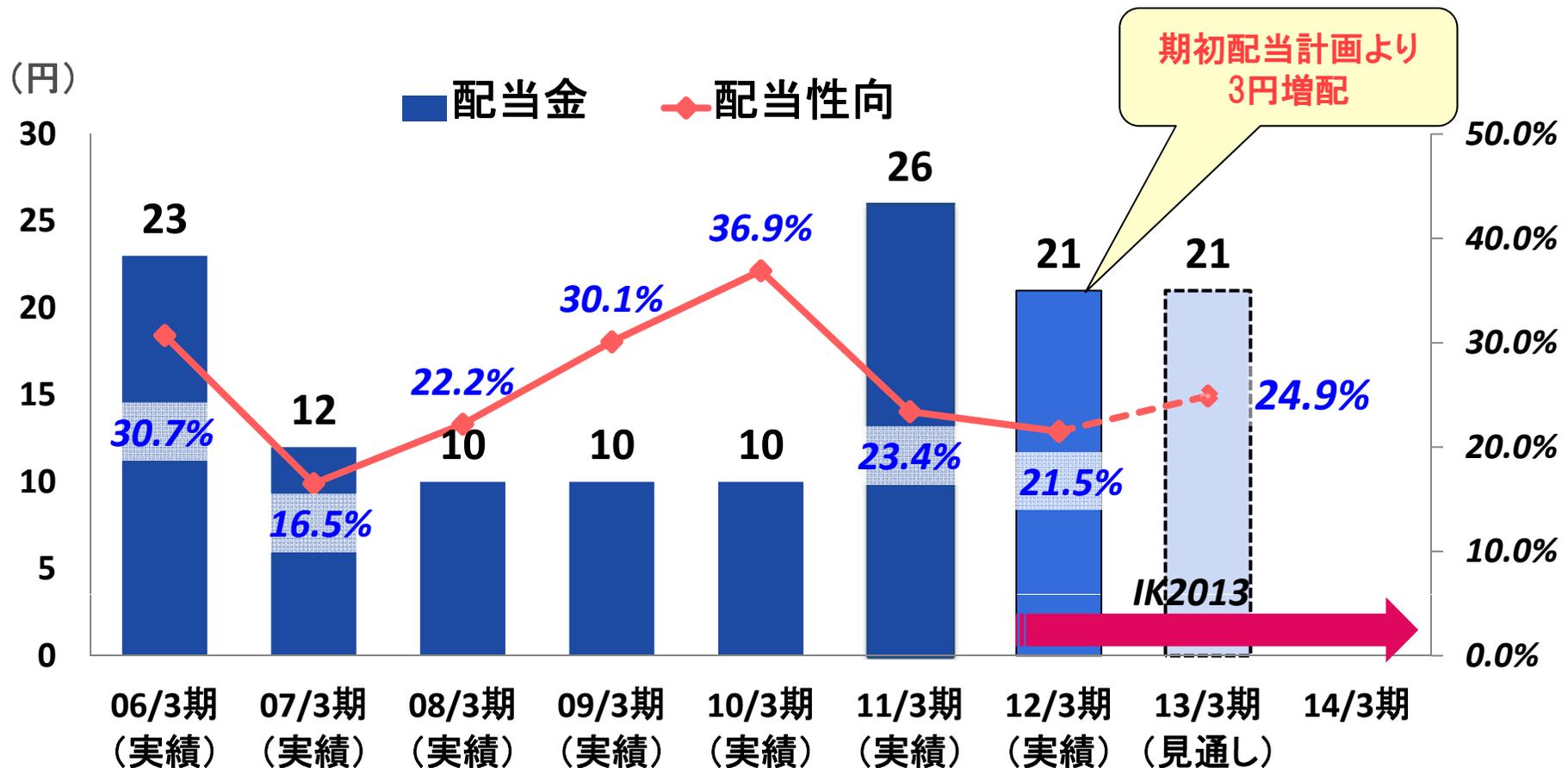
- 取得株式数 800,000株
- 株式取得価額 439,794,000円
- 取得期間 2012年8月8日～8月28日

# 株主への利益還元



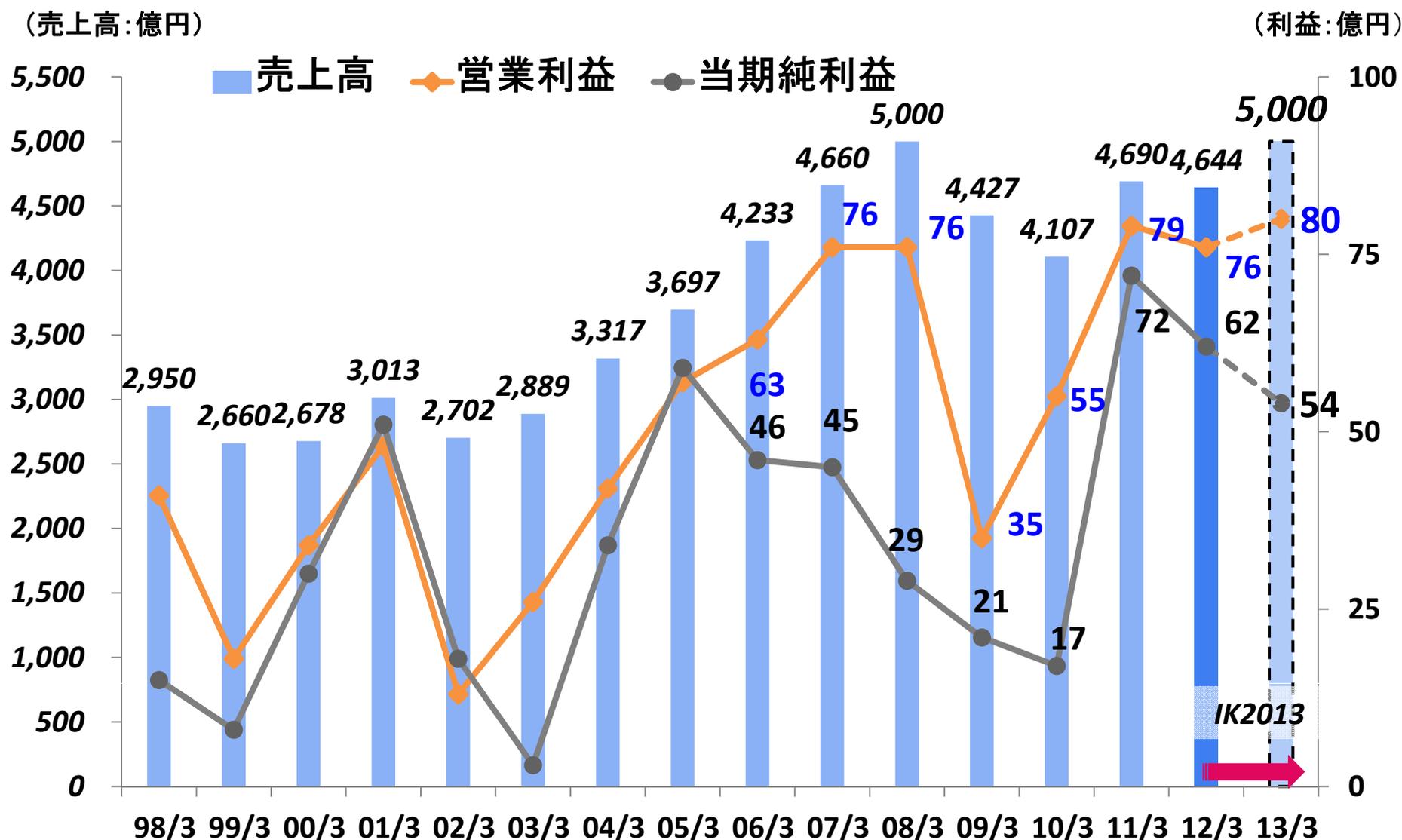
## 1株当たりの年間配当金と配当性向

配当性向 20~30%を目安



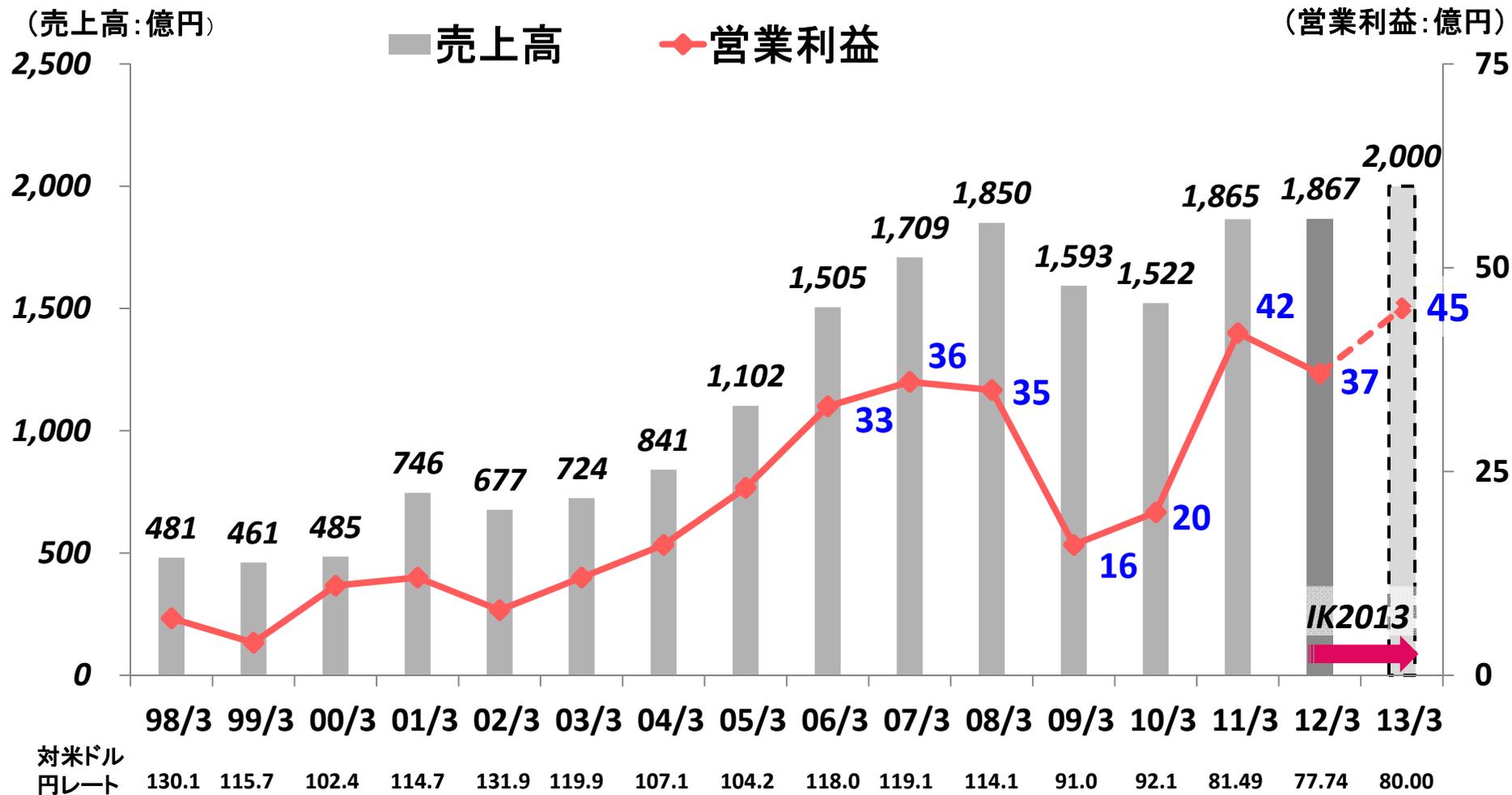
(注) 11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

# (参考) 過去15年の連結業績の推移



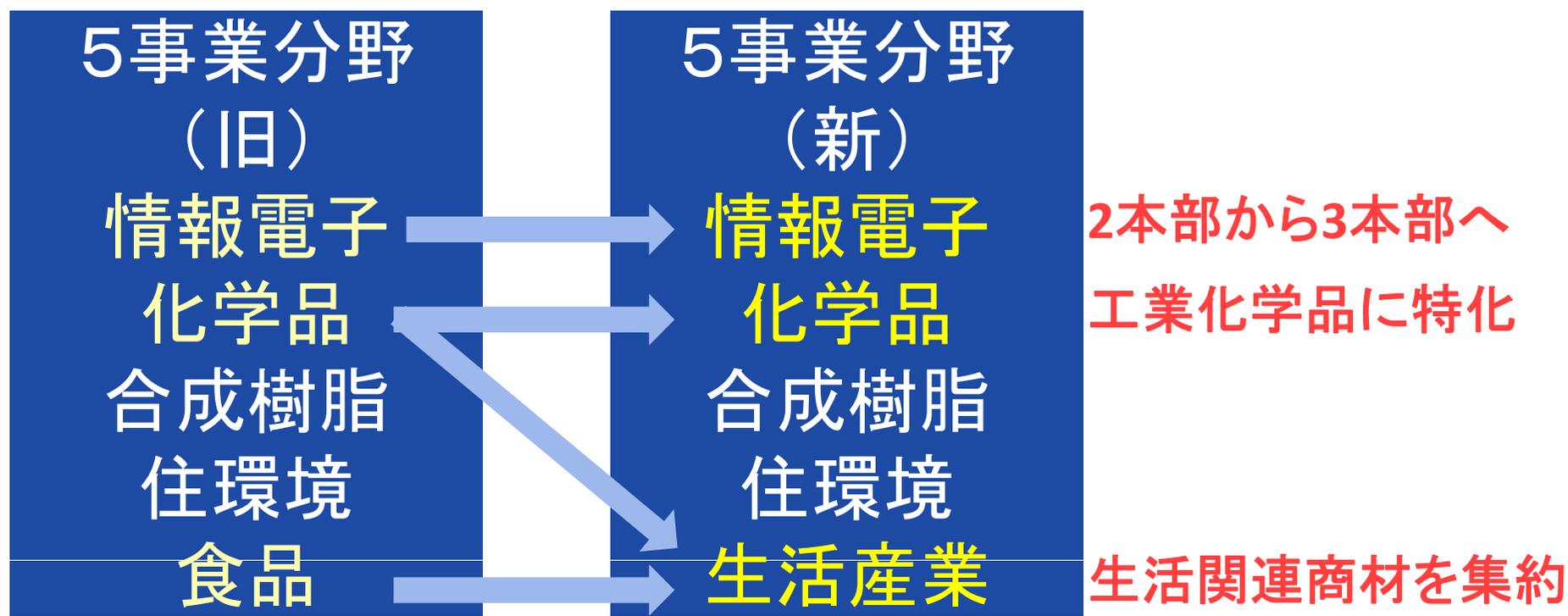
# (参考) 過去15年の海外の売上高と営業利益の推移 **IK**

## 2013年3月期の海外の営業利益は45億円超をめざす



## 「IK2013」達成に向け組織を再編(2012年4月1日付)

- 目的
- ① 更なる意思決定の迅速化
  - ② 機動力のある組織の構築



# (参考)「IK2013」経営指標の推移

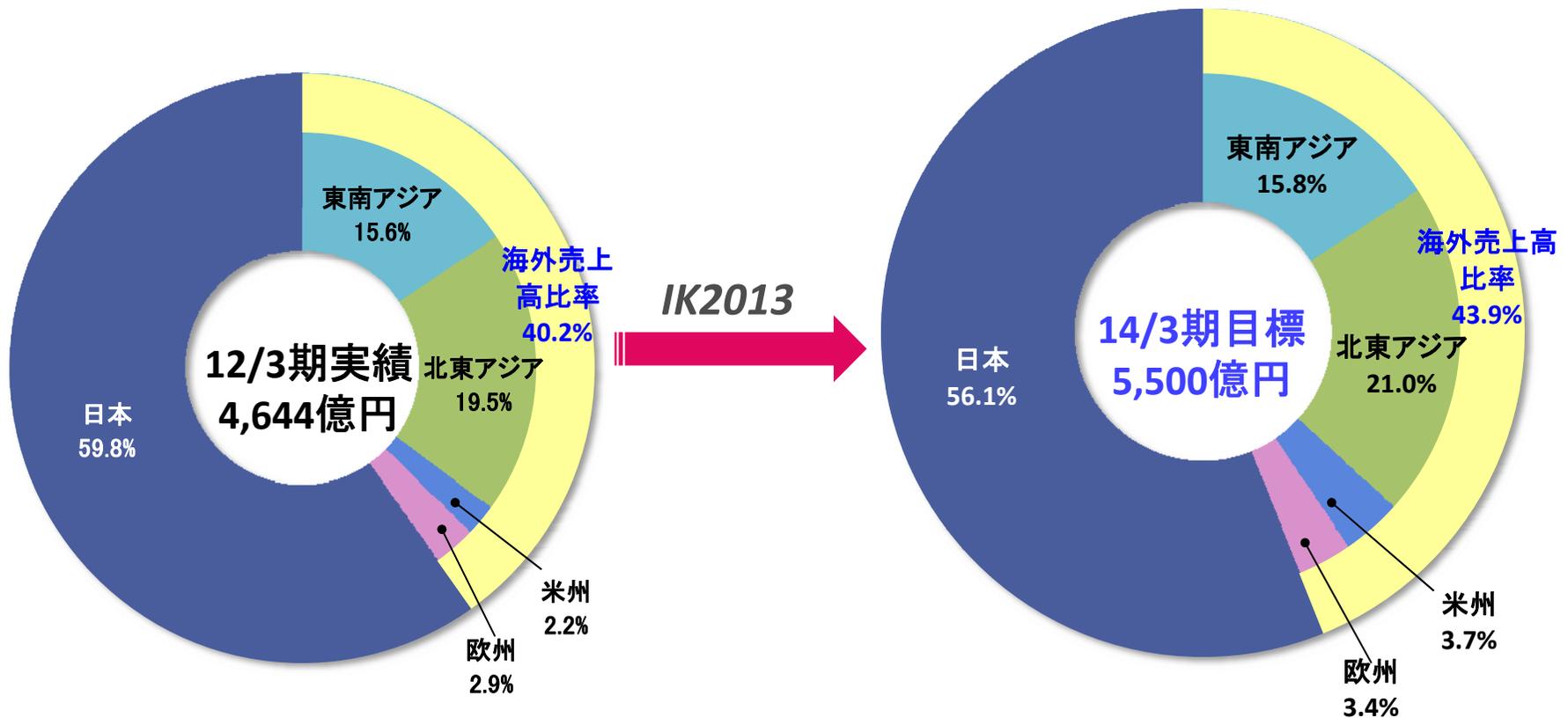


IK2013

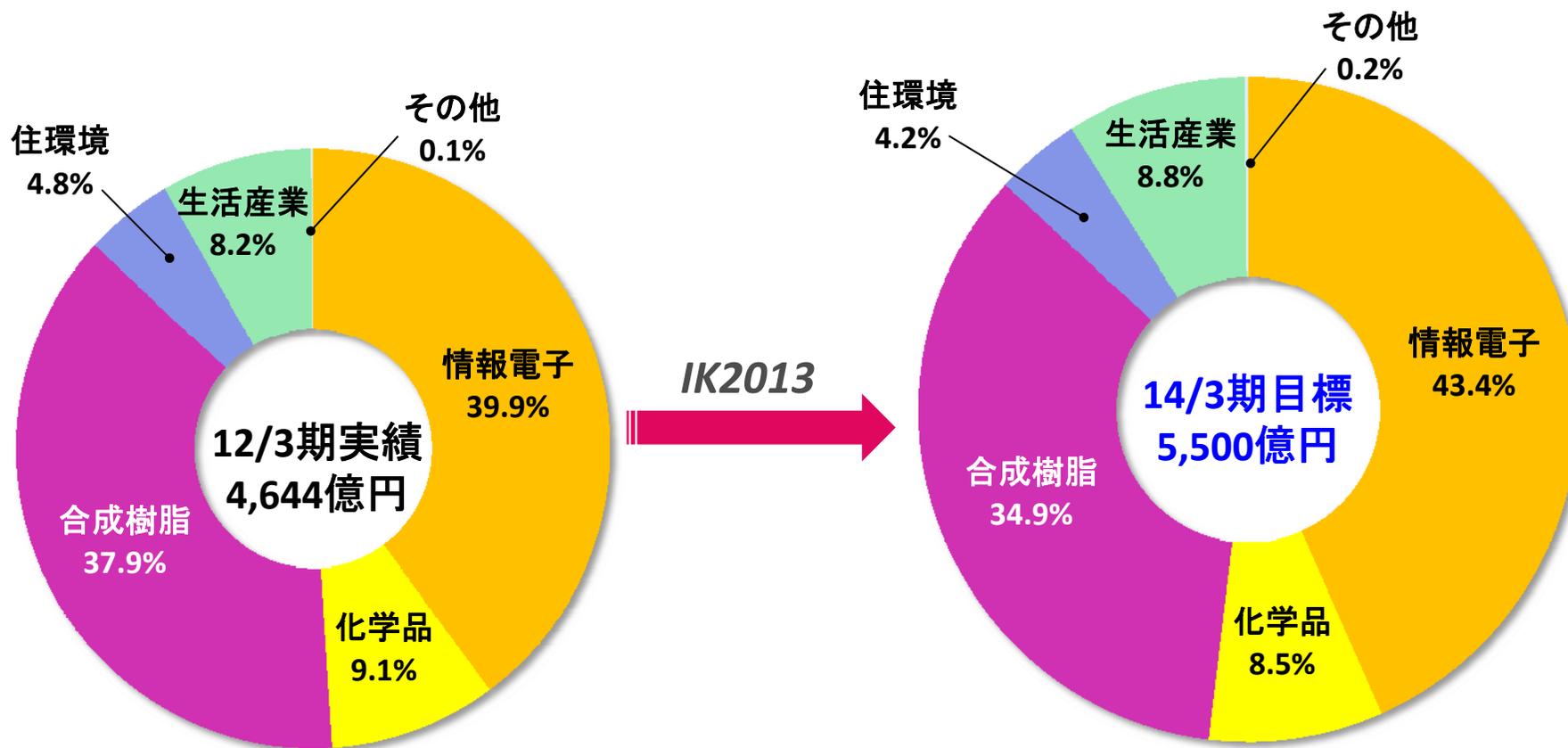


(注)11/3期(実績)はアイケイファーマシー売却特別利益(税引前31億円)を含んだ数字で算出。

## 地域別売上高構成比



## 事業別売上高構成比



(注) 比率は、12/3期実績、14/3期「IK2013」目標共に2012年4月1日からの新セグメントに組み替えたもの。

# (参考)事業セグメント概要



## 情報電子



ディスプレイ・ケミカル装置	液晶ディスプレイ(LCD)関連、LED関連業界への部材の供給および各種製造装置の取扱いを中心に、新規分野への展開も視野に高度な専門知識を活かした提案型ビジネスを展開。
映像・情報	複写機、プリンター業界のお客様にインクジェットやトナー原料、カートリッジなどの各種部材の販売、また専門知識を活かした幅広いサービスを提供。
エネルギー・エレクトロニクス材料・電子材料	半導体、LED、タッチパネル、太陽電池、二次電池、産業用フィルム業界等のお客様に、原料からプロセス材料、製造・検査装置、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供。

## 合成樹脂



成型材	塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤やポリオレフィン系、スチレン系樹脂などの汎用樹脂から各種コンパウンド、エラストマー、エンジニアリング・プラスチック、合成ゴムまで幅広い仕入ソースを背景にお客様のニーズ、シーズに合致した提案や製品展開に注力
高機能樹脂	エンブラ、スーパーエンブラ、特殊樹脂を中心に家電、OA、電子部品、自動車、建材分野のお客様に提案
産業材	ポリオレフィン原料、フィルム製品が中心で、原料メーカーとのタイアップや海外展開により充実したサービスを提供。環境対応商品、高機能商品の開発にも注力。
フィルム・機能材	コンバーター業界に対するフィルムビジネスをコアに、工業材料分野・自動車分野にも製品展開を行い、汎用・高機能オレフィンフィルム販売から食品・工業用向け最終製品までのコーディネートを提供
シート・成形材	PP,PS,PET樹脂などのシート類やその原反のみならず製品加工までと原料から製品までと一貫介在し、物流コストの効率化・コスト低減に寄与

## 化学品



スペシャリティケミカル	自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界に高機能化学品をグローバルに展開。
パフォーマンスケミカル	塗料、インキ業界向けを中心としたコーティング原材料と製紙関連薬品、接着剤原料および製品等、幅広い商品をタイムリーに提供。

## 住環境



住宅建材	住宅メーカー・建材メーカー向けパーティクルボード、木材、集成材、建材、プラスチック製品などの販売
環境資材	住宅設備機器メーカー向け・非住宅分野向けに原材料から半製品・製品までの販売

## 生活産業



ファーマケミカル	ヒューマンヘルスケアの様々なシーンにおける医薬原料の提供
環境・ファインケミカル	日用必需品の原料調達をグローバルにサポート。商品の企画から製品までトータルソリューションを提供
食品	安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供

# 会社情報



会社名	稲畑産業株式会社	事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
創業	1890年10月1日	上場市場	東証一部、大証一部
設立	1918年6月10日	証券コード	8098
資本金	93億6千4百万円	単元株式数	100株
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 稲畑 勝太郎	株主数	5,647名
本社	大阪本社/大阪府中央区南船場 一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋 本町二丁目8番2号	大株主の状況 (持株比率 上位3株主と 持株比率)	住友化学株式会社 21.8% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 5.0% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 4.6%
従業員数	586名〔連結3,788名〕		
発行可能株式総数	200,000,000株		
発行済株式の総数	65,159,227株		

(2012年9月30日現在)

人と人をつなぐ、あなたのベストパートナーでありたい。

**IK** 稲畑産業株式会社

## □ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 経営企画室 広報部

TEL 03-3639-6546 FAX 03-3639-6793

E-mail inabata-ir@inabata.com

### ◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

### ◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。